卒業の認定に関する方針

日本総合ビジネス専門学校は中庸を旨とし、勤労を尊び、職業人としての総合能力を有する人間性豊かな人材を育てます。また、地域社会の情報化産業の持つ様々な問題を見つけ出し、仲間とともに問題解決をしていく積極的な能力を身につけ、地域社会の一員としての責任を自覚した人材を社会に送り出します。

そのために卒業時点で必要な能力を下記のとおり定めます。

(1) 専門分野の知識、技術を身につけ、各種の資格取得を目指す自主的自立的能力を身につけている。

(2) 地域社会、関係会社に即戦力となる専門分野の知識、技術を身につけている。

(3) 身近なところでの課題発見する意識を常に保つことによって、自ら学習する習慣と姿勢を身につけている。

(4) 社会性を身につける本学の「人間形成」教育をとおして実社会に出るための常識を身につけている。

(5) 問題解決のため仲間との協働作業が円滑にできる能力が備わっている。

(6) 常に感謝の心をもち、社会に対する責任を自覚している。

日本総合ビジネス専門学校は本学の定めるカリキュラムに沿った所定の時間の授業を受講し、試験・演習等の成績評価をクリアし、課程の要件を満たし終了したものに卒業を認定します。卒業者には専門士の称号が付与されます。